

## 第1回ドレブリン研究会（第3回伊香保勉強会） プログラム

日時：平成31年3月8日（金）～3月9日（土）

場所： 3/8 群馬大学医学部刀城会館  
群馬県前橋市昭和町 3-39-22  
群馬大学伊香保研修所  
群馬県渋川市伊香保町伊香保 14-1  
3/9 群馬大学医学部特別会議室  
群馬県前橋市昭和町 3-39-22

### 3月8日（金）

第1部（10:00-17:00）群馬大学刀城会館

（10:00-10:05）石崎泰樹 挨拶（群大・医学系研究科長）

#### （1）ドレブリン研究の歴史

- （10:05-10:35）概説 白尾智明（群大・医学系研究科）
- （10:45-10:55）虚血とドレブリン 猿木信裕（衛生環境研究所）
- （10:55-11:05）骨格筋とドレブリン 渡辺秀臣（群大・保健学研究科）

#### （2）神経細胞の発達過程におけるドレブリンの役割

- （11:05-11:25）アクチン結合タンパクとしてのドレブリンの精製と特徴  
石川良樹（県民健康科学大）
- （11:25-11:45）シナプス形成におけるドレブリン結合タンパク質 Spikar の役割  
山崎博幸（群大・医学系研究科）
- （11:45-12:05）マウス成体脳の新生ニューロンと行動におけるドレブリンの役割  
梶田裕貴（東北大・医学系研究科）

昼食（12:05-13:20）自由討論

#### （3）シナプスにおけるドレブリンの働き

- （13:20~13:40）神経可塑性とドレブリン 今村一之（前橋工科大）
- （13:40~14:00）神経活動依存的なドレブリンの動態 関野祐子（東大・薬学系研究科）
- （14:00-14:30）アイソフォーム変換によるドレブリンの動態の変化とシナプスにおける役割 花村健次（群大・医学系研究科）

- (14:30-14:50) ドレブリンによるシナプスの CaMKII $\beta$  の制御機能 山崎博幸(群大・医学系研究科)
- (14:50-15:00) エンドサイトーシスに関わるドレブリンの働き 邱宇楷 (群大・医学系研究科)

コーヒープレイク (15:00-15:40)

(4) ドレブリンをマーカーとしたシナプスの状態の解析法について

- (15:40-16:10) シナプスの超解像解析 小金澤紀子 (群大・医学系研究科)
- (16:10-16:30) ドレブリンをマーカーとした薬物評価 清水英雄(国立精神・神経医療研究センター神経研究所)
- (16:30-17:00) 放射線によるシナプス毒性のドレブリンを用いた解析 Anggraeni Puspitasari (群大・未来先端)

17:00-18:00 伊香保研修所までバス移動  
(事前に申し込みのあった方だけになります)

第2部 (18:00~19:00) 伊香保研修所

1. ヒト iPS 細胞由来神経細胞を用いた研究の現状について1 中澤 敬信(阪大・薬学研究科)
2. ヒト iPS 細胞由来神経細胞を用いた研究の現状について2 山本 亘彦(阪大・生命機能研究科)
3. ヒト iPS 細胞由来神経細胞の最近の世界情勢について関野 祐子 (東大・薬学系研究科)
4. 今後の研究の方針について白尾 智明 (群大・医学系研究科)

夕食 (19:00-20:00)

第3部 (20:00~21:00) 伊香保研修所

- ブレインストーミング (ファシリテーター：小金澤 紀子)

3月9日(土)

7:30～朝食

9:00～チェックアウト、群馬大学までバスで移動

第4部(10:00-11:50) 群馬大学医学部特別会議室

● 総合討論

司会：白尾 智明 (群大・医学系研究科)

指定討論者：関野 祐子 (東大・薬学系研究科)

指定討論者：金村 米博 (大阪医療センター)

11:50-12:00 閉会の挨拶 白尾智明(群大・医学系研究科)

第一部で発表する方はパワーポイントで発表スライドをご用意ください。

Windows 10のPCを一台ご用意しておきますが、ご自分のPCをお持ち込みいただいても結構です。

第二部以降の発表者はスライドをご用意していただく必要はありません。

連絡先

磯野 伴子、花村 健次

群馬大学医学部神経薬理学

電話：027-220-8052

E-mail：tisono@gunma-u.ac.jp; kenji\_hanamura@gunma-u.ac.jp